

PRESS RELEASE

2023年6月26日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、Web APIセキュリティサービス「IIJ Safous WAAP」を海外向けに提供

--ゼロトラストアクセス技術を応用した保護機能でAPIエンドポイントへの攻撃リスクをゼロに--

当社は、EC サイトやオンラインバンキングなどの Web サービスで使用される Web API(※1)の脆弱性を狙った攻撃を防御する Web API セキュリティサービス「IIJ Safous WAAP(セーフラス ワープ)」を、本日より主にグローバルにビジネスを展開する日系企業および東南アジアを中心とした現地企業向けに提供開始いたします。

Web アプリケーションの提供・開発事業者は、エンドユーザに配布するモバイルアプリに本サービスのモジュールを組み込むことで、モバイルアプリと Web サービスのサーバ間で適切に認証され、アプリユーザだけがセキュアに Web サービスにアクセスすることが可能になります。この方式により、一般的な WAAP(※2)製品とは異なり、第三者には Web API が秘匿された状態になり、ゼロデイ攻撃やその他の情報窃取や改ざんの意図を持つ攻撃から Web API を防御することができます。

※1 API(Application Programming Interface) :ソフトウェアやプログラム、Web サービスの間をつなぐインターフェースです。

※2 WAAP(Web Application and API Protection) :2017年にGartnerが提唱したWAFの発展技術として提唱したコンセプトです。

Web APIは、様々な Web サービスで使用されています。例えば、EC サイトやオンラインバンキングなどの Web サービスでは、Web API を使って、Web サーバ側の機能をネットワーク経由でユーザ側のモバイルアプリと連携させることによって、リアルタイムの情報表示や充実した情報検索などサービスの利便性を支えています。また DX 時代である昨今、IoT サービスのように機器同士、アプリケーション同士をつないでのデータ流通が加速的に増えており、ここでも Web API を使った連携が行われています。こうした Web サービスが増えるにつれて、Web システムに加えて Web API 自体がサイバー攻撃の対象となり、その被害件数および被害額は拡大しています。このため、機密情報を扱う銀行、カード会社、保険会社など金融機関、ヘルスケア事業者が提供する Web サービスにおいては、Web API セキュリティの対策強化が急務となっています。

当社ではまず、Web API セキュリティ市場の急速な拡大が見込まれる東南アジアでビジネス展開する現地企業やグローバル企業向けに、さらにはそれら企業向けにモバイルアプリを開発する事業者向けに本サービスの提供を開始いたします。サービス開始当初はモバイルアプリ向けにサービスを提供しますが、今後はさらに対応範囲を広げ、IoT 機器やサーバからのアクセスにも対応できるよう、SDK(Software Development Kit)(※3)を開発し、提供していく予定です。

※3 SDK (Software Development Kit) : Web アプリケーションなどソフトウェアを開発するために必要なプログラムやライブラリがパッケージにして提供されている開発ツールです。

本サービスの主な特徴

ゼロトラストアクセス技術を応用し、アプリを利用するユーザのみが Web API を利用できます。防御対象の Web API には、第三者がインターネット上から到達できないため、理論上攻撃リスクをゼロにすることができ、ゼロデイ攻撃や対策の遅れた脆弱性を狙った攻撃から完全に保護することができます。加えて、攻撃の通信に対し監視・防御を行う従来製品に比べて、サービスインフラの負荷を大幅に軽減できるため安価にご提供が可能です。

また、本サービスでは、Web アプリケーションのセキュリティである WAF(Web Application Firewall)

機能や DDoS 対策機能が含まれており、Web API のセキュリティ対策とあわせてご利用いただくことが可能です。

月額費用

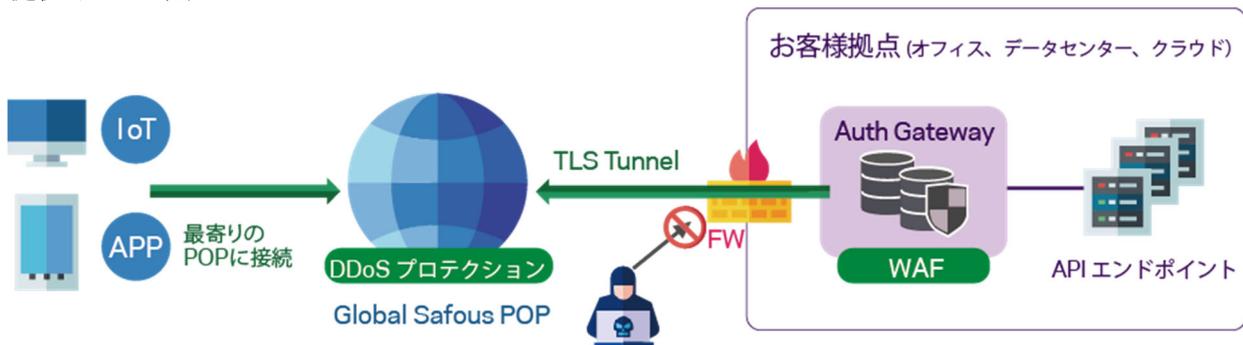
USD1,000 (Auth Gateway 1 ユニット、100 アクセスライセンス込)

※ Web アプリの利用者数ではなく、IIJ Safous WAAP でご提供する Auth Gateway 上で認証されたアプリケーションもしくはデバイス数で課金されます。

※ 101 アクセスを超えた場合は、1 アクセスにつき USD0.75 が発生します。

※ 初期費用は発生しません。

提供イメージ図



【Safous WAAP による Web API 防御の仕組み】

- ・ モバイルアプリのプログラム内に本サービスで提供するモジュールを組み込む
 - ・ 認証用の Auth Gateway を API エンドポイント(Web サーバ)にアクセスできるネットワークに設置
 - ・ Safous Admin Portal(管理画面)から API エンドポイントへの認証認可を設定
 - ・ 対象モバイルアプリから IIJ Safous WAAP 経由での API エンドポイントへ接続
- ※ 対象 Web サービス以外からの API エンドポイントへの接続では、ファイアウォールの設定変更は不要です。

➤ 本サービスの詳細については、以下サイトをご覧ください。

<https://www.safous.com/services/web-application-and-api-protection> (英語のみ)

IIJ では今後も、DX 時代の脅威トレンドを踏まえたセキュリティサービスを開発し、お客様の Web サービスを保護してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : press@ij.ad.jp

URL: <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。